

# アクティブスピーカーシステム

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよく読むのう**え、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## SRS-T10PC

©2004 Sony Corporation Printed in China

## 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。


### 定期的に点検する

1年に1度は、USBケーブルとパソコンのUSB端子との間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら



変な音・においがしたら、煙が出たら

➡

- 1 USBケーブルをパソコンから抜く
- 2 パソコンの電源を切る
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

#### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

#### 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

#### 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号



火災



感電

#### 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止





ぬれ手禁止


#### 行為を指示する記号



指示



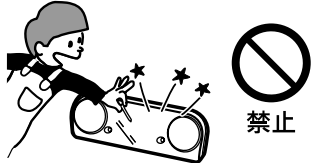




下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

#### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにUSBケーブルをパソコンから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



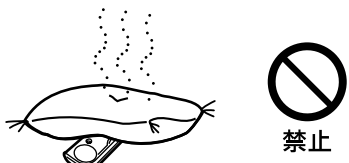
#### ぬれた手でUSBケーブルをさわらない


感電の原因となることがあります。



#### 本体を布団などでおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

#### はじめからパソコン側のボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳や機器をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。



- Microsoft および Windows は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP Media Center Edition 2004、Microsoft® Windows® XP ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 98 Second EditionをWindows 98SEと記載しています。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- C-MediaはC-Media Electronics Inc.の登録商標です。
- なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 主な特長

#### コンパクト設計

- ノートパソコンと一緒に簡単に持ち運びできるコンパクトサイズのスピーカーシステムです。パソコンにUSB接続し、手軽にクリアなサウンドを楽しむことができます。
- USB/バスパワーにより、スピーカー用ACアダプターの接続が必要なく、また乾電池も不要なため、電池寿命を気にすることなく使用できます。(パソコンをバッテリー駆動している場合、パソコンのバッテリー持続時間は短くなります。)
- 接続用USBケーブルは、スピーカー本体にコンパクト収納可能。

#### 簡単セッティング

- USB接続をするだけの簡単接続。

#### クリアサウンド

- 新開発の薄型39mmスピーカーを採用。パランスのよいクリアなサウンドを楽しめます。

## 主な仕様

スピーカー部		CPU	Intel Pentium®II 300MHz以上 Intel Celeron 500MHz以上
型式	フルレンジ パスレフ型 防磁型 (JEITA*)		
使用スピーカーインピーダンス	直径39mm	電源部・その他	電源 USB/バスパワー対応 4Q (5V、500mA以下)
定格入力	0.25W		
最大入力	0.3W	最大外形寸法	約170×60×24mm (幅／高さ／奥行き)
アンプ部		質量	約190 g
実効出力	0.25W+0.25W (全高調波歪10%、1kHz、4Q) (JEITA*)	付属品	取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
入力	USBケーブル (A端子、約30cm) ×1	本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。	
動作環境	対応パソコン	IBM PC/AT互換機 USBポート装備 Windows XP Media Center Edition 2004 Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition Windows 98 Second Edition	
対応OS*	2	*1 JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。 *2 日本語版標準インストール/パソコンでの動作保証をしております。OSアップグレードパソコンでは動作保証いたしません。 *3 上記動作環境において、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。	

## 正しくお使いいただくために

#### 安全上のご注意

##### USBケーブルについて：

USBケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

##### 留守にするときは：

ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ずUSBケーブルをUSB端子から抜いてください。

##### 異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐにUSBケーブルを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

##### 異物について：

特に、USBケーブルやパソコンのUSB端子には異物を入れないでください。故障や事故の原因となります。

##### 取り扱い上のご注意：

スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。

##### お手入れの仕方：

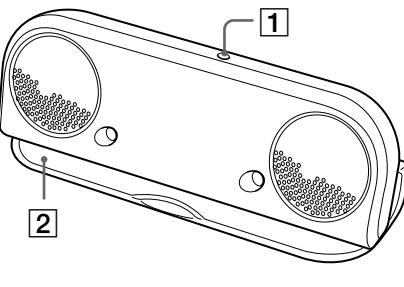
キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

##### 設置について：

- 次のような場所は避けてください。
  - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  - 窓を閉め切った自動車内 (特に夏季)。
  - 風呂場など、湿気の多い所。
  - ほこりの多い所、砂地の上。
  - 時計、キャッシュカードなどの近く。(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。)
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。

## 各部のなまえ

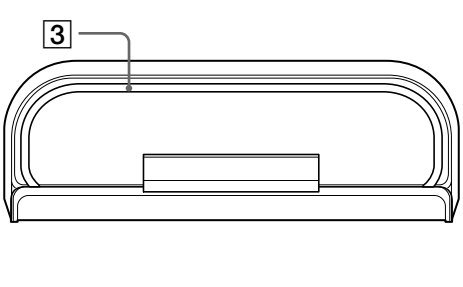
#### 前面



① POWERランプ

② カバー

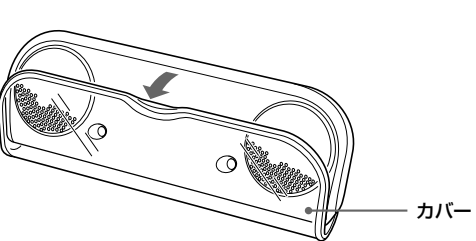
#### 背面



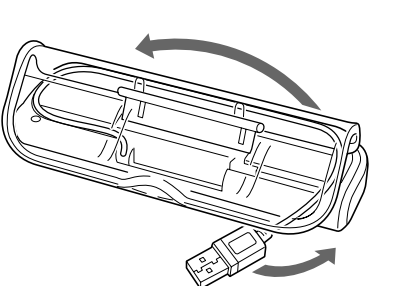
③ USBケーブル

## スピーカーを設置する

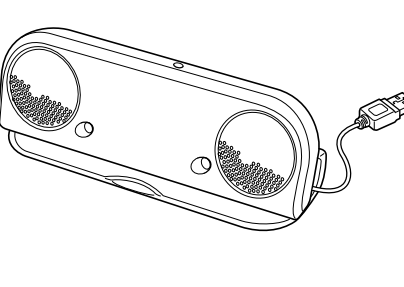
### 1 カバーをおこす



### 2 USBケーブルを本体裏面の収納部から取り外す

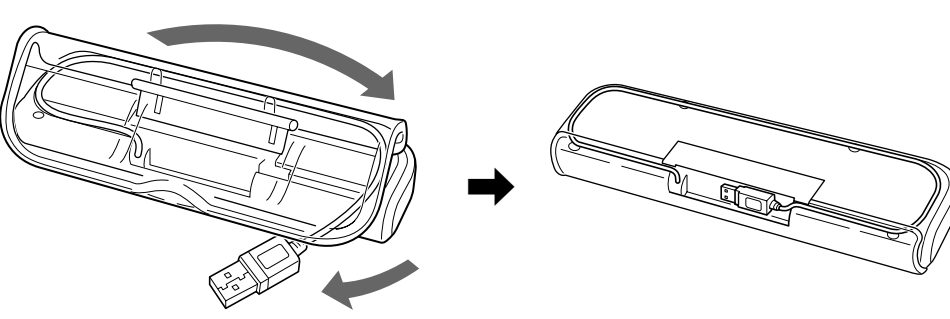


### 3 本体をカバーに立てかける



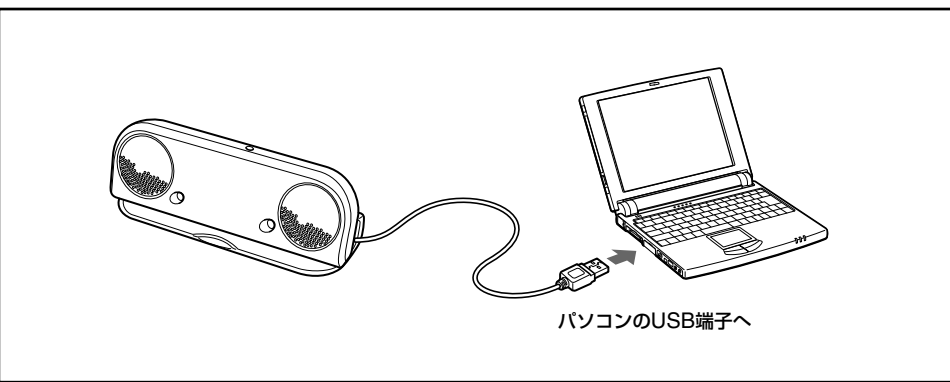
#### USBケーブルを収納するには

下記のように収納してください。



## 準備

### 準備1：接続



### 1 USBケーブルを本体収納部から取り外す

### 2 本機のUSBケーブルをパソコンのUSB端子へ接続する

#### USB接続時のご注意

- パソコンとの間にハブを通して他のUSB機器をつなぐと、音が出なかったり、動作に不具合がでる場合があります。また、ノイズ発生の原因になることもありますので、必ずパソコンと直接接続してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないと、接触不良によるパソコン側での誤認識の原因となることがあります。USB端子の上下の向きを確認して、平行に正しく接続してください。

### 準備2：デバイスドライバのインストール (Windows XPの場合)

初めてパソコンのUSB端子に接続したときに必要です。デバイスドライバはWindows XPに含まれており、本機には付属していません。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### 1 パソコンの電源を入れて、Windows XPを起動する

### 2 本機をパソコンに接続する

### 3 USB複合デバイス・USBオーディオデバイス・USBヒューマンインターフェイスデバイスが自動的にインストールされる

#### ご注意

- 2回目以降の接続では上記のインストール作業の必要はありません。(異なるUSB端子に接続した場合には、別途インストールが必要な場合があります。)
- デバイスドライバのインストール時およびインストール後の「USBオーディオデバイス」のプロパティには「C-Media USB Headphone Set」と表示されます。

### 音楽CD再生の設定

CD-ROMドライブで、音楽CDを再生する場合はこの設定が必要です。

### 1 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択する

### 2 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックする。

### 3 「サウンドとオーディオデバイス」のアイコンをクリックし「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開く

### 4 「ハードウェア」項目を選択する

### 5 「デバイス」項目から音楽再生用のCD-ROMのアイコンを選択し、「デバイスのプロパティ」を開く

### 6 「プロパティ」項目を選択する

### 7 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェック欄をクリックする

### 8 「OK」を選択し、終了させる

### 準備2：デバイスドライバのインストール (Windows 2000の場合)

初めてパソコンのUSB端子に接続したときに必要です。デバイスドライバはWindows 2000に含まれており、本機には付属していません。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### 1 パソコンの電源を入れて、Windows 2000を起動する

### 2 本機をパソコンに接続する

### 3 USB複合デバイス・USBヒューマンインターフェイスデバイス・USBオーディオデバイスが自動的にインストールされる

#### ご注意

- 2回目以降の接続では上記のインストール作業の必要はありません。(異なるUSB端子に接続した場合には、別途インストールが必要な場合があります。)
- デバイスドライバのインストール時およびインストール後の「USBオーディオデバイス」のプロパティには「C-Media USB Headphone Set」と表示されます。

### 音楽CD再生の設定

CD-ROMドライブで、音楽CDを再生する場合はこの設定が必要です。

### 1 「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選択する

### 2 「サウンドとマルチメディア」のアイコンをダブルクリックし「サウンドとマルチメディアのプロパティ」を開く

### 3 「ハードウェア」項目を選択する。

### 4 「デバイス」項目から音楽再生用のCD-ROMのアイコンを選択し、「デバイスのプロパティ」を開く

### 5 「プロパティ」項目を選択する

### 6 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェック欄をクリックする

### 7 「OK」を選択し、終了させる

## 準備

### 準備2：デバイスドライバのインストール（Windows Meの場合）

初めてパソコンのUSB端子に接続したときに必要です。デバイスドライバはWindows Meに含まれており、本機には付属していません。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- パソコンの電源を入れて、Windows Meを起動する**
- 本機をパソコンに接続する**
- USB互換デバイスをインストールする**

USB互換デバイスが自動的にインストールされます。
- USBオーディオデバイスをインストールする**
  - USB互換デバイスのインストールに引き続いて、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示される。
  - 「次の新しいハードウェアが見つかりました。」と書かれたウインドウに「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、さらに「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」のチェック欄にマークされていることを確認し、「次へ」をクリックする。
  - 自動的にUSBオーディオデバイスがインストールされる。
  - 「USBオーディオデバイス　新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。
- USBヒューマンインターフェイスデバイスをインストールする**

USBオーディオデバイスのインストールに引き続いて、USBヒューマンインターフェイスデバイスが自動的にインストールされます。
- 本機を接続したままパソコンを再起動する**

- ご注意
- 2回目以降の接続では上記のインストール作業の必要はありません。（異なるUSB端子に接続した場合には、別途インストールが必要な場合があります。）

音楽CD再生の設定

CD-ROMドライブで、音楽CDを再生する場合はこの設定が必要です。

- 「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選択する**
- 「システム」のアイコンをダブルクリックし「システムのプロパティ」を開く**
- 「デバイスマネージャー」項目を選択する**
- 「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックする**
- 音楽再生用のドライブを選択し、「デバイスのプロパティ」を開く**
- 「プロパティ」項目を選択する**
- 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェック欄をクリックする**
- 「OK」を選択し、終了させる**

### 準備2：デバイスドライバのインストール（Windows 98SEの場合）

初めてパソコンのUSB端子に接続したときに必要です。デバイスドライバはWindows 98SEに含まれており、本機には付属していません。なお、デバイスドライバのインストールには、お手持ちのWindows 98SE CD-ROMが必要になる場合があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- パソコンの電源を入れて、Windows 98SEを起動する**
- 本機をパソコンに接続する**

本機をパソコンに接続すると、「新しいハードウェア追加ウィザード」が表示され、デバイスドライバのインストールが自動的に始まります。パソコンの画面の指示に従って、各ドライバをインストールしてください。

  - 「Windows 98SE CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」と表示された場合は、Windows 98SE CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「OK」をクリックします。お使いのパソコンによってはドライブ名(D:など)や、ファイル名の指定が必要になる場合があります。
- USB互換デバイスをインストールする**
  - 「次の新しいドライバを検索しています。」と書かれたウインドウに「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。「検索方法を選択してください。」と表示されます。
  - 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のチェック欄にマークされていることを確認して「次へ」をクリックする。「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
  - 初めからチェックされている項目と、「CD-ROMドライブ」のチェック欄にマークをして「次へ」をクリックする。「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。
  - 「USB互換デバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。ドライバのコピーが行われます。
  - 「USB互換デバイス　新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。
- USBヒューマンインターフェイスデバイスをインストールする**
  - 「次の新しいドライバを検索しています。」と書かれたウインドウに「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。「検索方法を選択してください。」と表示されます。
  - 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のチェック欄にマークされていることを確認して「次へ」をクリックする。「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
  - 初めからチェックされている項目と、「CD-ROMドライブ」のチェック欄にマークされていることを確認して、「次へ」をクリックする。「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。
  - 「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。ドライバのコピーが行われます。
  - 「USBヒューマンインターフェイスデバイス　新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。
- USBオーディオデバイスをインストールする**
  - 「次の新しいドライバを検索しています。」と書かれたウインドウに「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。「検索方法を選択してください。」と表示されます。
  - 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のチェック欄にマークされていることを確認して「次へ」をクリックする。「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
  - 初めからチェックされている項目と、「CD-ROMドライブ」のチェック欄にマークされていることを確認して、「次へ」をクリックする。「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。
  - 「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。ドライバのコピーが行われます。
  - 「USBオーディオデバイス　新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

- USBオーディオデバイスをインストールする**
  - 「次の新しいドライバを検索しています。」と書かれたウインドウに「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。「検索方法を選択してください。」と表示されます。
  - 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のチェック欄にマークされていることを確認して「次へ」をクリックする。「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されます。
  - 初めからチェックされている項目と、「CD-ROMドライブ」のチェック欄にマークされていることを確認して、「次へ」をクリックする。「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。
  - 「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする。ドライバのコピーが行われます。
  - 「USBオーディオデバイス　新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」をクリックする。

### 6　本機を接続したままパソコンを再起動する

- ご注意
- 2回目以降の接続では上記のインストール作業の必要はありません。（異なるUSB端子に接続した場合には、別途インストールが必要な場合があります。）

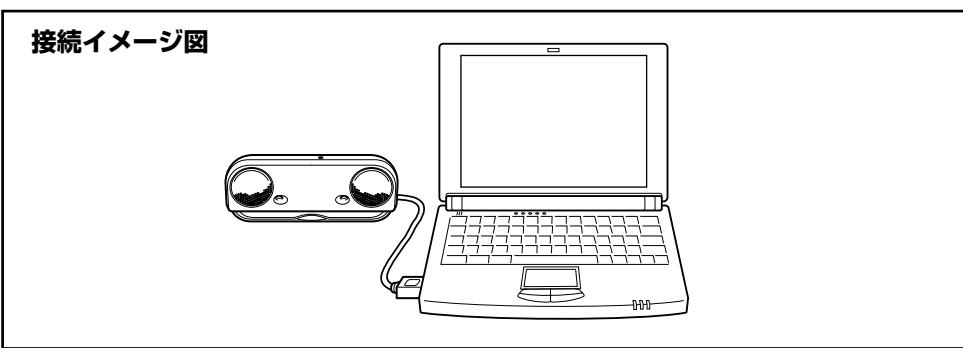
音楽CD再生の設定

CD-ROMドライブで、音楽CDを再生する場合はこの設定が必要です。

- 「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選択する**
- 「マルチメディア」のアイコンをダブルクリックし「マルチメディアのプロパティ」を開く**
- 「音楽CD」項目を選択する**
- 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェック欄をクリックする**
- 「OK」を選択し、終了させる**

### 使い方

はじめに「スピーカーを設置する」をご覧ください。



- 接続したパソコンの電源を入れる**

本機のPOWERランプが点灯します。

ご注意

本機をパソコンに接続した場合、パソコン側の音量が最大になる場合があります。音楽ソフト再生前にパソコン側の音量を下げてください。

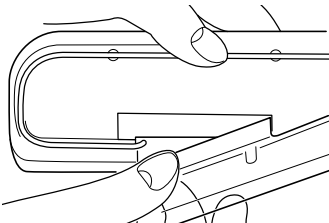
### 2　パソコンの音楽再生ソフトなどを起動し、再生する

- ご注意
- 音楽ソフト再生中に本機を接続した場合には、本機から音は出ません。一度音楽ソフトを停止させたあとに、再び再生してください。本機から音楽ソフトが再生されます。

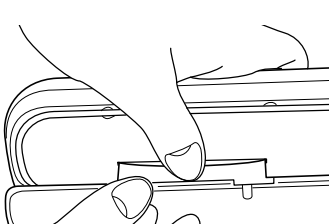
**音量を調節するには**  
パソコン側のボリュームコントロールを調整し、最適な音量に設定してください。

## カバーが外れたときには

### 1　カバーにあるツメを片方だけ本体背面の穴に差し込む



### 2　もう片方のツメを本体背面の穴に差し込む



### 使用上のご注意

- 本機の音量が小さい場合は、パソコン側の音量が小さくなっている場合があります。パソコン側の音量をコントロールパネルで確認してください。また、各種ソフトの録音状態により音量に差があります。
- パソコンをバッテリー駆動させ、本機で音楽を聞いている場合、パソコンのバッテリー持続時間は短くなりますので、長時間本機を動作させる場合には、パソコンにACアダプターを接続してご使用してください。
- 本機でピーというような音を連続して鳴らさないでください。大きな電流が流れて、パソコンのバッテリーの減りが早くなったり、故障の原因になります。
- 本機をUSBハブやUSB延長ケーブルを通して使用しないでください。動作の不具合がでる場合があります。直接パソコンのUSB端子に接続して使用してください。
- 本機をパソコンのUSB端子に接続する場合、無理な力を加えたり、連続で抜き差ししないでください。パソコンが本機を認識できず、スピーカーから音が鳴らなくなったり、故障の原因になる場合があります。
- 本機は、パソコンのUSB端子に接続してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とパソコンの接続を確認する場合は、パソコンのデバイスマネージャーで確認してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコン本体に複数のUSB端子がある場合は、パソコンによっては本機と同時に他のUSB機器が使用できない場合があります。スピーカーの出力低下や音飛び、ノイズの発生の原因になることもあります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 自作パソコンなどへWindowsのOSをインストールしたり、アップグレードしたのも、その他対応OS以外での動作保証はいたしません。
- パソコンのCPUはIntel PentiumII 300MHz以上、Intel Celeron 500MHz以上を推奨します。CPUのパワーが不足している場合や、他のアプリケーションを同時に起動している場合には、データが欠落してノイズや音切れの原因になります。
- スピーカーからの音が歪んだり、ノイズが多い場合は、パソコンの音量をコントロールパネルで調節してください。
- パソコンの警告音と音楽再生などのバランスが悪いときは、パソコンの取扱説明書を確認して調節してください。
- USBデバイスドライバをインストールする前に、重要なデータはあらかじめバックアップを取っておくことをおすすめします。誤操作や故障などにより、パソコンの記憶内容が失われたり、使用できなかった場合、当社ではこれによる損害等の責任を負いかねますのでご了承ください。
- サスペンドレジューム機能(システムサスペンド、システムハイバーネーションなど)を使うと、USBスピーカーが正しく動作しないことがあります。その場合、アプリケーション再起動するか、コンピュータを再起動してください。
- CDプレーヤーやメディアプレーヤーなどで音楽再生中に、USBケーブルの抜き差しをしないでください。誤動作や故障の原因になります。
- 音楽再生ソフトの動作中に、本機のUSBケーブルを抜き差ししないでください。誤動作の原因となる場合があります。抜き差しをした場合は、再生ソフトが起動している状態から、1度終了させて、再び起動してください。
- 本機をパソコンのUSB端子に接続するとき、プラグを傾けたり、ゆっくり差し込んだりすると誤動作の原因となることがあります。接続するときは、垂直にすばやく差し込んでください。誤動作などが発生した場合は、本機をパソコンに接続し直す、またはパソコンを再起動させてください。
- 本機をパソコンに接続した後、すぐに音楽再生ソフトを動作させると誤動作をおこす場合がありますので、約5秒待ってから動作をはじめてください。
- 音楽CDを再生させるときは、必ず「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェック欄をチェックしてください。チェックがない場合、音楽CDが再生できない場合があります。チェックのしかたの詳細については、お使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- Windows® 2000で本機を使用している場合、スタンバイ状態から復帰したときに、パソコン側の音量が変更され大きな音が出る場合があります。その場合、パソコン側のボリュームコントロールで調節してください。

### 故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる。	入力信号が大きすぎる。	<ul style="list-style-type: none"><li>接続したパソコンの音量を下げる。</li> <li>使用するソフトウェアによっては、イコライザ調整をフラットにする。</li></ul>
音が小さい。	パソコン側のボリュームコントロールまたは音楽再生ソフトウェアの音量が絞られている。	パソコン側のボリュームコントロールを調節する。
音が出ない。	USBケーブルがしっかり接続されていない。  音楽ソフトなどの再生中に本機を接続した。	USBケーブルを確実に接続する。  音楽ソフトなどの再生を一度停止し、再び再生する。
	パソコンのオーディオ再生デバイスが正しく設定されていない。  パソコン側のボリュームコントロールまたは音楽再生ソフトウェアの「ミュート」が設定されている。	<ul style="list-style-type: none"><li>Windows XPの「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、「音の再生」項目の「既定のデバイス」を「C-Media USB Headphone Set」にする。</li> <li>Windows 2000の「サウンドとマルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、音の再生を優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にする。</li> <li>Windows Meの「サウンドとマルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、再生を優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にする。</li> <li>Windows 98SEの「マルチメディアのプロパティ」設定で「オーディオ」を選択し、再生を優先するデバイスを「USBオーディオデバイス」にする。</li></ul> ミュートを解除する。
	USBポートが認識されていない。  USBが使用不可になっている。	再生ソフトウェアを終了し、起動しなおす。それでも解決しない場合は、パソコンを再起動する。  パソコンのデバイスマネージャーで確認する。
ノイズが出る、または音が出ない。	パソコン側のCPU負荷が大きい。  本機をUSBハブなどで使用している。	他のアプリケーションを終了する。  本機を直接パソコンのUSB端子へ接続する。
接続したパソコンの内蔵マイク・外部入力マイクが使用できない。	パソコンのオーディオ録音デバイスが正しく設定されていない。	パソコンのオーディオ録音デバイスを、USBオーディオデバイスからパソコンに組み込まれているオーディオデバイスに変更する。 詳しくは、カスタマーサポートページをご覧ください。

なお、パソコンの操作について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。本製品については、カスタマーサポートページもあわせてご覧ください。

以上の処置を行なっても改善されないときは故障と考えられます。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

## 保証書とアフターサービス

- 保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
  - 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
  - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- アフターサービス
- 調子が悪いときはまずチェック**をこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは**  
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内
<p>本機についてご不明な点や<b>技術的な質問、故障と思われるときのご相談</b>については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。</p> <p><b>ホームページで調べるには ⇒ コンピュータ関連アクセスリ－カスタマーサポートへ</b>  http://www.sony.co.jp/support/pc-accl/</p> <p>アクティブスピーカーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。</p> <p><b>電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）</b></p> <p>お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 型名：SRS-T10PC</li> <li>● ご相談内容：できるだけ詳しく</li> <li>● お買い上げ年月日</li> <li>● ご使用のパソコンの環境 <ul style="list-style-type: none"><li>－ ご使用のパソコンの機種名</li> <li>－ メモリ－容量</li> <li>－ ハードディスクなどの容量</li> <li>－ OSの種類</li></ul></li></ul>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご確認ください。http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・0120-333-020 携帯電話・PHS一部のパ電話・・0466-31-2511	フリーダイヤル・・・・・・・・・・0120-222-330 携帯電話・PHS一部のパ電話・・0466-31-2531 <small>※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</small>
<b>FAX（共通）0120-333-389</b>	

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「[309] + 「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。